

普通作 植物成長調整剤一覧

倒伏防止などの生育調節は、施肥、水管理や土入れ、踏圧などの基本技術の励行により対応するのが原則である。しかし、生育期の気象条件等によって倒伏が懸念される場合には、補完的な方法として倒伏軽減剤の使用が考えられる。

1 水稻倒伏軽減剤

(2025年7月1日現在)

(1) スマレクト、ロミカ粒剤

目的	植物成長調整剤名	成 分 (%)	処理法
倒伏軽減	スマレクト粒剤	パクロブトラゾール (0.60)	湛水散布
倒伏軽減	ロミカ粒剤	ウニコナゾールP (0.040)	湛水散布

【使用上の注意】

- ①たん水状態で散布し、落水やかけ流しはしない。
- ②使用時期、使用量を守り、できるだけ均一に散布する。
- ③軟弱徒長気味の稲体に使用した場合、その後の気象条件によっては葉先の褐変や黄化を生じることがあるが、収量への悪影響は少ない。
- ④後作に野菜や花き等の作付けを行う場合には使用しない。また、本剤使用田の土は、野菜等の育苗土として絶対に使用しない。

(2) ビビフルフロアブル、粉剤

目的	植物成長調整剤名	成 分 (%)	処理法
倒伏軽減	ビビフルフロアブル	フロヘキサジオンカルシウム塩 (1.0)	茎葉散布
倒伏軽減	ビビフル粉剤DL	フロヘキサジオンカルシウム塩 (0.12)	散布

【使用上の注意】

- ①フロアブルは均一に散布する。
- ②使用時期、使用量を守り、できるだけ均一に散布する。
- ③周辺作物にかかるないように注意する。

2 小麦倒伏軽減剤

(2025年7月1日現在)

(1) サイコセルPRO

目的	植物成長調整剤名	成 分 (%)	処理法
倒伏軽減	サイコセルPRO	クロルメコート (65.8)	茎葉散布

【使用上の注意】

- ①高温時の散布で葉面に黄化症状を呈することがあるので、晴天の日

は日中散布を避ける。

- ②使用時期、使用量を守り、できるだけ均一に散布する。
- ③一般作物にも微量で影響を及ぼすことがあるため、周辺作物にかかるないように注意するとともに、使用後に散布器具を十分に洗浄する。